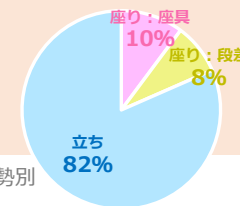


③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

ii) 周辺ネットワーク特性の分析

○ 回遊性創出に向けた歩行者の滞留行動の把握

- ・屋外が魅力的なエリアでは歩行者の多様な滞留行動が見られ、エリアでの滞在時間が延び、回遊が生まれやすい
- ・現況において、「**立ち**」の滞留が戎橋商店街など多くの箇所で確認されるが、「**座り**」滞留は少ない
- ・御堂筋では、南側と北側の区間、東側と西側の歩道で、それぞれ**滞留行動の分布傾向が異なる**



内訳：姿勢別

▼滞留行動調査結果（姿勢別：平日データ）

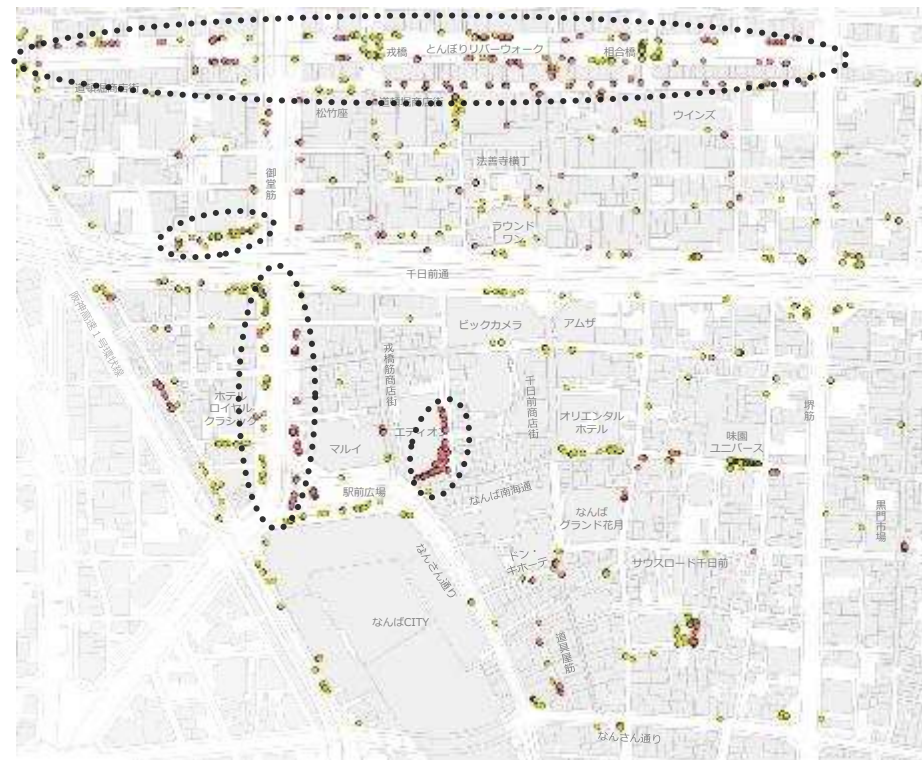
立ち

● 立ち（立ち止まっている）



座り

● 座り（イスなど座具に）
● 座り（床や段差などに）



③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

ii) 周辺ネットワーク特性の分析

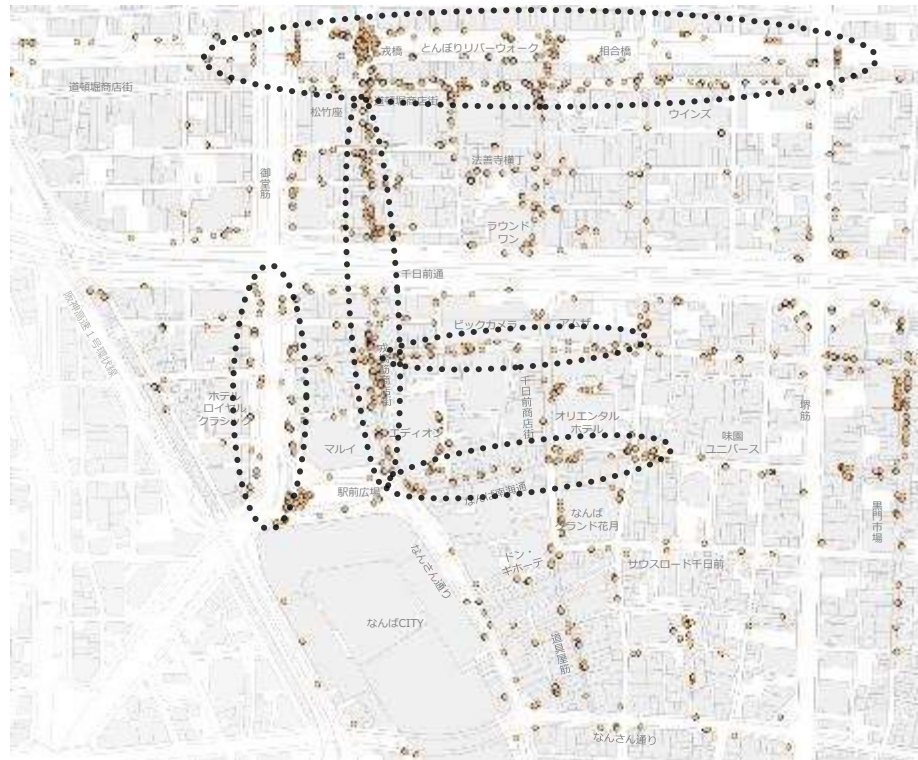
○ 回遊性創出に向けた歩行者の滞留行動の把握

- ・戎橋商店街や御堂筋南区間において、そこに居ることを楽しむような行動が多く見られる
- ・御堂筋北区間では、楽しむ行動が比較的に少ないことがわかる
→ 沿道建物の開口が少ないことなどが要因として考えられる

▼滞留行動調査結果（アクティビティ別：平日データ）

楽しむ（飲食、写真を撮る、買い物、景色を眺めるなど）

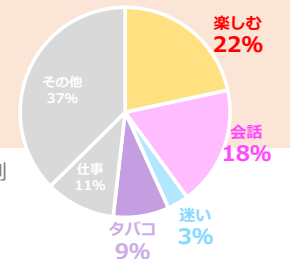
● 楽しむ



会話



内訳：アクティビティ別



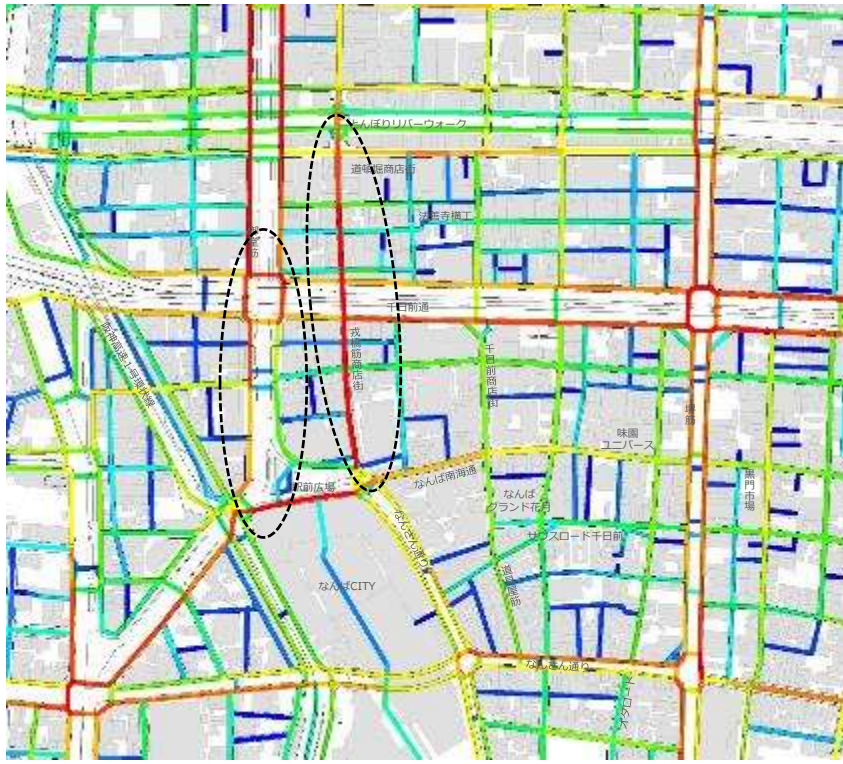
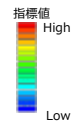
③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

ii) 周辺ネットワーク特性の分析

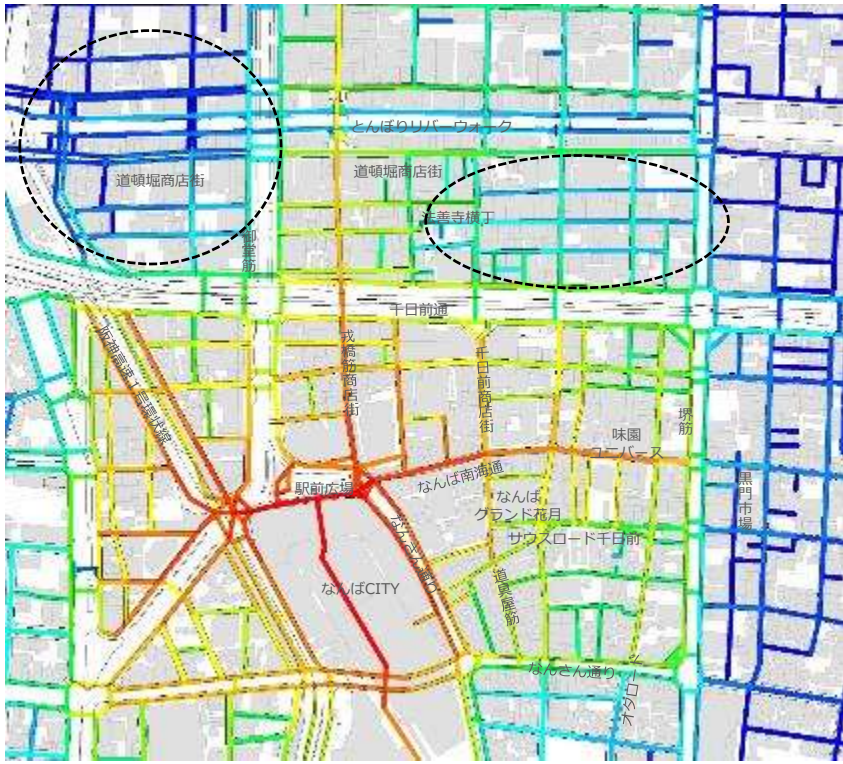
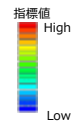
○ 歩行動線ネットワークの分析

- ・同エリア内の動線の位置関係として、南北の移動では戎橋商店街が利用されやすく、**御堂筋は南北に連続的に通行されにくい**
- ・難波駅からのつながりでは、千日前以南のエリアまではつながりが強い（近く感じる）が、それより北のエリアでは遠く感じられる

▼途中経路としての通り掛かりやすさ
-媒介中心性-（800m圏）



▼南海難波駅からの近接感
<距離+屈折の統合指標>



③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

ii) 周辺ネットワーク特性の分析

○ 歩行動線ネットワークの分析

- ・歩行動線は互いにつながることによって機能し、周囲とのつながりが良い場所は、自ずと人々の活動が集まりやすい場所となる
- ・現況においては、**戎橋筋商店街の指標値が高く、御堂筋南端部、特に東側の動線的つながりが弱い**ことがわかる
- ・将来、**南海難波駅周辺の歩行者化によって、御堂筋南端部の東側の動線的つながりが強化される**ことが予想される

▼動線的つながりの良さ - 近接中心性 - (解析範囲：400m)

現況



将来 (南海難波駅周辺の歩行者化)

